

日本最南端の大自然と文化のまち

たけとみちよう

竹 富 町



〈組織〉

(平成30年3月31日現在)

町長	にしおおますこうじゅん 西大舩高旬 任期 H32.9.13 (1期)	副町長	まえかがわけんいち 前鹿川健一 任期 H32.9.30 (1期)
副町長	-	教育長	なかだもりかず 仲田森和 任期 H30.9.30 (1期)

議長	あらひろふみ 新博文	副議長	なかざとしゅんいち 仲里俊一
議員	条例定数	現議員数	任期満了日
	12	11	H30.9.27
	常任委員会		党派構成
	総務財政、経済、議会運営	公明	無所属
		1	10

市町村コード	473812	類型	I-O
所在地	〒907-8503 石垣市美崎町11番地1		
T E L	0980(82)6191	F A X	0980(82)6199
ホームページ	http://www.town.taketomi.okinawa.jp		
指定地域	離島・過疎・辺地・農山村・農業振興・産業高度・観光促進		

〈概要〉

県下 1 位		
総面積	H29.10.1	耕地 H29.7.15 宅地 H29.1.1
334.39	km <sup>2</sup>	2,060 ha 1,790,476 m <sup>2</sup>

県下 29 位		
住基人口	H29.1.1	H27国調人口 H22国調人口
4,269	人	3,998 人 3,859 人
年少人口割合	17.2%	(県全体 17.4%) 高齢化率 20.2% (県全体 19.6%)

住基世帯数	H29.1.1	H27国調世帯数	H22国調世帯数
2,418	世帯	2,122 世帯	2,000 世帯

有権者数	H30.3.1	男	女
3,484	人	1,807 人	1,677 人

沿革

明治41年4月1日	勅令(46号)をもって八重山村を設置
大正3年4月1日	八重山村より分離村制施行
昭和23年7月2日	町制施行
-	-
-	-
-	-

〈基本構想〉

基本構想	H22～H31	中長期財政計画	無
基本計画	H27～H31	( - - )	
実施計画	H28～H30	( 3年計画 3年ローリング )	

〈町の花・木・鳥・魚/名所・旧跡/祭・行事等〉

町花	月桃(サミン)	町木	イヌマキ(キヤージ)
町鳥	アカショウビン	町魚	カスミアジ(ガーラ)
名所・旧跡	竹富島の町並み、マリユドの滝、伊古棧橋、日本最南端の碑、由布島の水牛車、サキシマスオウの木		
祭り、行事	節祭、ムシャーマ、結願祭、種子取、豊年祭、牛まつり、やまねこマラソン、鳩間島音楽祭		
名産・特産	黒糖、黒毛和牛、もちきび、モズク、アーサ、ミンサー織り、マンゴー、パイン、泡盛、水稲		
姉妹都市	北海道斜里町(昭和48年1月盟約)		
その他	山中貞則胸像(名誉町民)、西表石垣国立公園、イリオモテヤマネコ(特別天然記念物)		

〈広域市町村圏・広域計画〉

八重山広域市町村圏
-
-
-

〈基地面積〉 (H29.3末)

米国軍	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	-
自衛隊	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	-
合計	- ha
県面積に占める割合	-

〈今後の主要プロジェクト〉

区分	事業名	実施年度	事業費
補助	複合型福祉施設整備事業	H27～H33	2,252
補助	大原小学校校舎危険建物改築工事	H31～H32	300
補助	加屋真島観光関連事業	H29～H32	249
単独	農道整備事業	H29～H33	289

**(教育)**

(平成29年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
町立幼稚園	3 園	67 人
町立小学校	11 校	285 人
中学校	9 校	104 人
町立	9 校	104 人
町立以外	0 校	0 人

**(医療)**

(平成28年度)

区分	施設数	病床数
病院	0 箇所	0 床
町立	0 箇所	0 床
町立以外	0 箇所	0 床
診療所	9 箇所	0 床
町立	4 箇所	0 床
町立以外	5 箇所	0 床
住民千人当たり病床数		0.0 床

**(産業)**

①産業別就業者数 (H27国調)

区分	就業者数	構成比
第1次	349 人	16.5%
第2次	112 人	5.3%
第3次	1,651 人	78.2%
合計	2,112 人	100.0%

**(福祉)**

区分	施設数	収容定数
保育所(H29.4.1)	- 箇所	- 人
町立	0 箇所	0 人
町立以外	0 箇所	0 人
生活保護率(H28年度平均) 人口千人当たり		10.23 人

②町内総生産

(H26年度実数)(百万円)

分類	総生産	構成比
農林	1,087	6.2%
水産	207	1.2%
鉱・製造	501	2.8%
建設	3,154	17.9%
電気ガス水道	214	1.2%
運輸・通信	472	2.7%
卸売・小売	1,164	6.6%
金融保険不動産	1,238	7.0%
サービス	6,644	37.7%
政府サービス生産者	2,782	15.8%
民間非営利団体	139	0.8%
合計	17,602	100.0%

**(財政)**

①決算収支

(百万円)

区分	H26年度	H27年度	H28年度
歳入総額	8,537	6,133	6,706
歳出総額	8,076	5,668	6,230
形式収支	461	465	476
実質収支	312	410	359
比率	10.3%	13.1%	11.2%
積立金	131	191	310
積立金取崩額	0	0	0
実質単年度収支	51	365	258

②主要指標

(百万円)

区分	H26年度	H27年度	H28年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財政力指数	0.15	0.15	0.16	30	0.36	0.52	0.30
標準財政規模 a	3,028	3,137	3,201	24	8,229	22,349	3,051
經常収支比率	79.8	78.0	76.3	5	86.7	87.8	83.9
人件費	31.7	27.9	28.3	29	23.4	22.6	25.4
扶助費	2.5	2.0	2.5	10	14.2	17.1	6.8
公債費	13.2	15.4	13.6	14	14.4	14.9	13.3
物件費	24.8	26.0	24.0	39	14.0	13.6	15.2
その他	7.6	6.7	7.9	1	20.7	19.6	23.2
実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
実質公債費比率	5.4	4.7	4.3	3	8.3	9.0	6.6
将来負担比率	-	-	-	-	26.9	41.7	-
税徴収率	91.2	91.5	91.6	35	96.2	96.4	95.4
現年課税分	97.8	97.7	96.5	37	98.6	98.7	98.5
滞納繰越分	25.2	23.0	20.0	35	37.7	39.3	33.1
債務負担行為額 b	0	0	0	-	-	-	-
b/a %	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
地方債現在高 c	5,738	6,103	6,302	-	-	-	-
c/a %	189.5	194.6	196.9	30	-	-	-
積立金現在高	3,877	4,253	4,834	-	-	-	-
財政調整基金	1,208	1,399	1,709	-	-	-	-
減価基金	595	608	658	-	-	-	-
その他特目基金	2,074	2,246	2,467	-	-	-	-
住民1人当たり税負担(円)	109,800	109,823	109,751	28	-	-	-
自主財源比率	14.6	20.9	20.5	31	-	-	-

③公営事業会計等における繰入金の状況

(H28年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金	うち財源補填的繰入金
国民健康保険事業	51	92	11
老人保健医療事業	0	0	-
介護保険事業(保険)	13	100	-
後期高齢医療事業	0	17	-
区分	実質収支	繰入金	うち基準外繰入金
法非通			
簡易水道事業	21	87	11
下水道事業	3	24	17
-	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
法通			
-	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0

④歳入の状況

(H28年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	469	7.0%
地方譲与税	33	0.5%
地方交付税	2,768	41.3%
普通交付税	2,485	37.1%
特別交付税	283	4.2%
国庫支出金	703	10.5%
県支出金	1,107	16.5%
地方債	643	9.6%
その他	983	14.7%
歳入総額	6,706	100.0%

④歳出の状況

(H28年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	1,034	16.6%
物件費	1,364	21.9%
扶助費	224	3.6%
補助費等	415	6.7%
公債費	484	7.8%
普通建設事業費	1,625	26.1%
補助事業費	1,219	19.6%
単独事業費	382	6.1%
その他	1,084	17.4%
歳出総額	6,230	100.0%

**(行政の特色)**

日本最南端に位置し、国内最大のサンゴ礁群である石西礁湖の海と、西表島の山河など亜熱帯の雄大な自然環境に恵まれ、東西約42km、南北40kmの広範囲に点在する16の島々からなる島嶼の町です。日本最南端の町として、日本の排他的経済水域に寄与するなど、地理的にも特徴のある町であります。自然と町民が共生する豊で活力ある町を築くため、「質の高い行政サービスの提供」「協働と協調のふるさとづくり」「持続型社会の実現に向けたふるさとづくり」「愛着と誇りを共有できるふるさとづくり」を目標に取り組んでいます。